

Pal

～仲間



2015
Spring Edition
Vol.85



1月16日から18日まで、JENESYS 2.0(21世紀東アジア青少年交流計画)で来日中だったインド人青年が大和市を訪問してくれました。



4ページでは
高木ファミリーの
ホームステイ
受け入れ体験記を
ご紹介しています。

Contents

お疲れ様でした。第3期大和市多文化共生会議が終わりました。……………	2～3
ホームステイ受け入れ体験記……………	4
やまと国際交流フェスティバル開催！……………	5
公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ、賛助会員募集、2015年度イベントカレンダー……………	6～7
国際化協会のホームページをリニューアルしました！……………	8

お疲れ様でした。第3期大和市多文化共生会議が終わりました。

第3期大和市多文化共生会議は、2013年2月に始まり、計20回の会議を経て、2014年12月に「災害時に助け合うために」と題する報告書を岡崎チャーマイン委員長から(公財)大和市国際化協会の小木曾管理理事長へ提出し、2年間の活動を終えました。

2015年2月には、岡崎委員長と小木曾管理理事長から大木哲大和市長へ報告書が手渡されました。今号のPalでは、この会議の取り組みをかんたんに紹介します。



そもそも大和市多文化共生会議って何？

外国人市民が日本人市民と同じ地域に暮らす住民として共生・協働できる地域づくりのために必要な取り組みを検討する会議のこと。これまで2期の開催実績があります。

第3期は、外国人7名(フィリピン2名、ペルー2名、ベトナム2名、韓国1名)と日本人5名の12名(うち、1名は任期途中で辞退)とファシリテーターに日本女子大学教授の清水睦美氏をお迎えして、2年の任期で活動を行いました。

テーマは「ネットワークづくり」

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、被災地に暮らす外国人市民の中に日本語がそれほど理解できない人もいたことから、行政の避難指示がわからなかったり、状況がよく把握できずに極度の不安におそわれたりする事態が起こりました。

災害が起きたときに命を守るためにも、外国人市民が多く暮らす大和市でも、災害が起きる前に具体的な取り組みを始めなければなりません。大和市には、私たち国際化協会やNPO法人、日本語教室など長年にわたり外国人支援について活動している団体があり、外国料理店や教会など外国人の拠り所となる場所もあります。こうした環境を外国人支援の枠組みづくりに活かし、外国人、日本人を含めた

ネットワークを通して外国人が災害時でも情報を入手しやすい環境をつくることを目的に、この会議のテーマを「災害対策を軸とした多文化がつながるネットワークづくり」に設定しました。

災害時に外国人支援のためのネットワークが機能するには、会議の委員をはじめ、国際化協会、大和市、日本語教室、外国人当事者団体など日ごろは個々に活動している関係者が平時からゆるやかにつながり続けることが重要です。そのために、災害に関する聞き取りを行うフィールドワークの実施、地域防災訓練への参加、災害多言語支援センター設置・運営訓練の実施などを通して、「顔の見える関係づくり」を行ってきました。



災害多言語支援センター設置・運営訓練

◎訓練の実施

大和市は、地域防災計画の中で外国人に対する災害時対策を行うとしているものの、災害時の支援体制づくりなど具体的な取り組みが行われているとは言い難い状況にあります。そこで、外国人市民を含め、外国人支援に関係する人たち(33名)が集まって「災害多言語支援センター設置・運営訓練」を2014年7月に実施し、大きな災害が起きたときにどのようにして外国人市民に情報を届けるのか、シミュレーションを行いました。

◎災害多言語支援センターとは？

大きな災害が起きたとき、災害に関する情報を日本語で十分に理解することがむずかしい外国人市民に対して、多言語や「やさしい日本語」で災害に関する情報を提供する拠点のことです。

◎訓練の内容

- 市と国際化協会による多言語支援センターの立ち上げ
- 市災害対策本部から発信される情報の内容を確認し、優先順位をつけるなどして情報を選別し、グループごとに割り振った情報提供先に配慮しつつ、「やさしい日本語」と多言語へ翻訳する。

◎訓練の様子
参加者は言語別の6グループに分かれて、それぞれの情報提供先を限定して作業にあたりました。



FMやまとへの情報提供【英語】



Facebookの活用【スペイン語】



中央林間小避難所掲示板【タガログ語】



ホームページの活用【中国語】



渋谷小避難所掲示板【ベトナム語】

災害多言語支援センター掲示板
【タイ・ラオス・カンボジア語】

第3期多文化共生会議からの提案

この会議では、フィールドワークや訓練の実施などを通して、外国人支援のネットワーク構築を目指してきました。会議の取り組みは、大和市や国際化協会に対する要望を含めて「提案」という形で報告書にまとめました。

①外国人市民の災害に関する知識・備えの不足に対する対応

- ・フィールドワークを通して様々な聞き取りを行い、外国人市民の多くが、地震が発生したときの対処方法がわからない傾向にあることがわかりました。
- ・外国人市民が不安を抱えたりすることのないように多言語や「やさしい日本語」での情報の提供が重要です。

②「支援される側」としてだけでなく「支援する側」としての外国人市民

- ・フィールドワークでは「支援する側の一員として日本人と一緒にサポートしたい」「外国人の一人として(同国人の中で)リーダーシップを発揮したい」という外国人の声がありました。
- ・外国人市民は災害時に支援を受ける側だけでなく、外国人を支援する側の担い手にもなり得ることを認識し、彼らの能力を発揮できる仕組みを整えていくことが大切です。

③外国人市民への情報提供

- ・災害時の行政情報はインターネットを通しての提供を望む声もありましたが、ネットを使い慣れていない外国人も多いことから、一番要望が多かったのは書面での情報提供でした。
- ・災害時の行政情報の提供はいくつもの方法によって行われる必要があります、こうしたニーズに対応できる仕組みとして災害多言語支援センターの役割が重要であることを再認識しました。

④災害多言語支援センター設置・運営訓練の必要性

- ・少なくとも年に一回程度の災害多言語支援センター設置・運営訓練を実施し、今回手がけたネットワークを維持していく必要があります。

⑤さらなるネットワークづくりに向けて

- ・私たち多文化共生会議が手がけたネットワークが災害時に外国人市民へ情報が確実に伝わるルートとなり、外国人市民にとって、地域にとっての大切なセーフティネットになることを望みます。
- ・そのためにも大和市、国際化協会にはこれからも関係団体や外国人市民が協力し合えるネットワークの構築を継続されるよう要望します。

報告会①危機管理課

委員から「今回の報告書について、市役所で災害対応を担当するセクションと話し合いの機会を持ちたい」との希望があり、市危機管理課職員への報告会を行い、この会議の取り組みできたことを伝えました。



報告会②市長

岡崎委員長と小木管理事務長から大木市長へ報告書を提出し、これまでの取り組みを報告しました。また、出席した委員からもそれぞれの立場から災害時の外国人支援に関して市長へ意見を述べました。



今後に向けて

報告書の提案にもあるとおり、この会議で取り組んできたネットワークが災害時に有効なものとなるには、当協会をはじめ、大和市や関係団体とともに多言語支援センター設置・運営訓練などの実施を継続していく必要があります。今後も当協会ではその取り組みを継続していきます。

第3期報告書「災害時に助け合うために」は下記のウェブサイトから参照できますのでぜひご覧ください。

第3期 大和市多文化共生会議 <http://www.yamato-kokusai.or.jp/jigyo/tabunka3>

ホームステイ 受け入れ体験記

たか ぎ こすも
高木 超

ホームステイ・ホームビジットバンクにご登録の高木ファミリーに、インドから来た学生と過ごした3日間の感想を聞かせてもらいました。

我が家にインド人がやってきた！

みなさんは「恩送り」という言葉を聞いたことがありますか。英語圏では「Pay it forward」と言われ、誰かから受けた恩を、直接その人に返すのではなく、別の人に送ることを意味します。

私たち夫婦は、それぞれアメリカやオーストラリアなどでホームステイをしたことがあります。その時お世話になった恩を今回来日するインド人青年たちに送りたい、そしてなによりインド青年と3日間過ごすことがとても楽しそうだと思う、ホームステイの受け入れに応募しました。

我が家に来てくれたのは、ソナとシャイラジャという2人の大学生です。ふたりはそれぞれデリー大学で化学と哲学を勉強していて、将来はインド政府などで働くことを考えていると話してくれました。

ソナとシャイラジャは、私たちと年齢が近く、UNIQLOで買い物をしたり、由比ヶ浜に遊びに行ったりと、友達のような感覚で3日間を過ごすこともできました。私たちは、折り紙で鶴の折り方などを伝え、彼女たちはデリーの渋滞に比べれば日本はどこに行っても空いているといった交通事情など、さまざまなことを私たちに教えてくれました。彼女たちと過ごした時間はもちろんのこと、歓送会で全てのホストファミリー、インド青年団とともにインドの伝統ダンスを踊り、楽しく過ごした時間もとても大切な思い出です。大和市にいながら、まるでインドに滞在しているかのような時間を過ごすことができました。

今回、日本の文化をできるだけ理解してもらえるように着物の着付け体験なども



考えましたが、これはホームステイという機会があったからこそ実現したことです。日本人の私たちでも普段は着物を着る機会がありませんが、彼女たちと一緒に日本の文化に触れることができました。次は私たちがインドに行き、彼女たちと一緒に世界遺産タージ・マハルを訪ねる約束をするなど、私たちにとっても新たな楽しみも増えました。

ホームステイの受け入れは、我が家にとって初めての経験でした。英語での意思疎通に困難はありませんでしたが、文化が異なることで準備の段階からいくつか戸惑うこともありました。その中で一番心配したことは食事です。彼女たちはベジタリアンだと聞いていました。でも、ひと言でベジタリアンと言っても、魚や鶏肉なら食べられる人から、根菜も食べられない人までとても広く、加工品は原材料にチキンエキスなど動物性の材料を含んでいないか気を付ける必要もあります。また、ベジタリアンに対応したレストランが県内の観光地でさえもほとんどないことに驚きましたし、レストランの方はベジタリアンについて説明するとかなり戸惑っていました。ハラルフードなどが最近メディアで話題となっていますが、さまざまな食習慣への対応は日本全体での課題だと感じました。初日の夕飯は、大和市保健福祉センター近くのスワガットというインド料理屋でベジタリアン対応のカレーを作ってもらいました。非常に助かりましたし、市内のお店を再発見する良い機会となりました。

私たちがホームステイを受け入れたように、彼女たちも将来、インドでホームステイを受け入れてくれるなど、「恩送り」のバトンが繋がればいいと思います。

今回のインド青年の来日をきっかけに、「大和市ホームステイバンク」にも登録しました。姉妹都市の光明市との交流など、引き続き自分たちが楽しみながら、大和市でいろいろな国の人と関わっていききたいです。



国際化協会では、ホームステイ・ホームビジットバンクにご登録くださるご家族を募集しています。今年は7月に大和市の友好都市である韓国光明市の中学・高校生の訪問が予定されています。詳しくは国際化協会事務局までお問い合わせください！

TRAVEL SUPPORT Inc

トラベル サポート 海外正規割引航空券
ホテル・現地ガイドの手配もOK

TEL 046(204)7714

E-mail travel-support.h@gol.com

世界の♡やまとから



ステージプログラム

- ビッグバンド演奏
- インド・オデッシーダンス
- 南米フォルクローレ演奏
- メキシコ伝統舞踊
- レゲエ・ポップス演奏
- フィリピンダンス
- グアム・チャモロダンス
- 民族衣装ファッションショーなど
- フラメンコ



華やかな
ステージ

お国自慢の
お料理を
ご賞味あれ!

外国料理屋台

- 中国料理
- 韓国料理
- タイ料理
- メキシコ料理
- アメリカ料理
- ペルー料理
- トルコ料理
- イタリア料理 (予定)



第10回 やまと国際交流 フェスティバル開催!

2015年5月24日(日)

10:30~15:00

大和駅東側プロムナード
(小雨決行)

フリーマーケット

外国の
民芸品も
ならびます



当日は盛りだくさんの内容で
皆様のご来場を
お待ちしております!!



外国文化体験

出会いの場で
みんなと交流!

- 「おしゃべりサロン」でいろいろな国の人と話してみよう!
- 外国の子どものゲームや遊びを体験してみよう!
- 外国のクラフトづくりに挑戦してみよう!
- 外国のお茶・お菓子を試飲試食してみよう!
- バルーンアートのミニプレゼント
- フェイスペインティングのサービスもあります
- クイズラリーでお菓子をゲット!



地域密着・顧客密着のクリエイティブ集団

SINCE 1885



似顔絵名刺で
集客! UP

会話の
きっかけに
なる

キャラクターで
売上! UP

一目で
イメージが
伝わる

デザイン

似顔絵
キャラクター

販促支援

印刷

広告

ホームページ



さん太くん

ご相談無料

株式
会社

さんこうどう

<http://www.sankodo.ne.jp/>

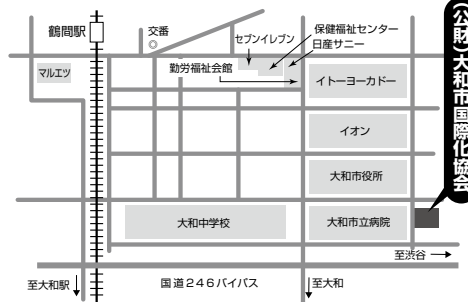
0120・3510・13

公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ

講座、イベントへのお申し込み、お問い合わせは国際化協会事務局までお願いします。

■公益財団法人大和市国際化協会

〒242-0018 大和市深見西8-6-12
大和市役所分庁舎2階(大和市立病院の東側)
Tel:046-260-5126 Fax:046-260-5127
Email:pal@yamato-kokusai.or.jp
http://www.yamato-kokusai.or.jp
受付時間 月曜～金曜 第1・3土曜
午前8時30分～午後5時



マークの見方

- ...日時
- ...場所
- ...定員
- ...費用
- ...対象
- ...内容
- ...講師
- ...お申し込み方法

日本語スピーチ大会の発表者を募集します

「第10回にほんごで話そう！日本語スピーチ大会」に出場するスピーチ発表者を募集しています。出場者には、賞状や記念品等を贈呈します。



2015年7月12日(日)午後1時開場

大和市勤労福祉会館3階ホール

5分ぐらいで日本語のスピーチをして頂きます。

資格 小学校4年生以上、市内在住・在学・在勤・在活動者を優先します。

審査 ①表現力 ②スピーチ内容の2点に基づき審査する。

10名(ただし同一の会社・学校・団体からの申し込みは原則として2名まで)

テーマ 自由 ※ただし、政治、宗教についてのスピーチはできません。

(例)①大和で暮らして思うこと ②私の国の食べ物
③日本と母国の間で思うこと など

申し込み 申込用紙に必要事項を記入して、国際化協会の窓口か、ファックス、Emailで申し込んでください。5月1日(金)から先着順に受け付けます。申込用紙は協会窓口で配布しているほか、HPからもダウンロードできます。

日本語教室(保育付き)

小さな子どもがいるお母さんも、子どもを預けて教室に参加できます。もっと日本語が話せるようになりたい方はぜひご参加ください！生活のいろいろな場面で使う言葉をいっしょに考えながら勉強しましょう。文法や生活に必要な漢字も勉強します。

第Ⅰ期 2015年5月7日から7月30日 全13回

第Ⅱ期 9月13日から11月26日 全13回

毎週木曜日 午前10時から正午

大和市勤労福祉会館2階創作の窓
(鶴間駅から徒歩約7分)

にほんごの会企業組合 宿谷和子先生ほか

対象 ひらがな、カタカナが書けて日本語が少し話せる方

18名

各期2,500円 (授業料、教材費込)

申し込み 電話または国際化協会窓口で3月1日(日)から先着順に受け付け中です。定員になり次第締め切ります。無料の保育サービスをご希望の方は事前に予約してください。



外国人市民サミット

大和市長を交えた外国人市民の懇談の場として、年に一度「外国人市民サミット」を開催しています。子育てなど具体的なテーマを取り上げて、グループで話し合う予定です。外国人支援に携わる日本人市民の方も参加できますので、ご興味のある方は国際化協会までご連絡ください。

6月28日(日)13:30～16:00

大和市勤労福祉会館3階ホール

対象 市内在住・在勤・在学の外国人市民(日本国籍を取得した方も含む)や日本人市民24名

申し込み 国際化協会まで



■通訳員による通訳サービス

外国人市民の皆さんからの生活全般に関するご質問やお問い合わせに通訳員が情報の提供を行っています。市役所での手続きや市立病院での診察の際に同行し通訳することもできます。サービスは無料ですのでお気軽にご連絡ください。

言語	曜日	時間	場所	電話番号
スペイン語	火曜日・金曜日	9:00～12:00	大和市役所2階	046-263-8305
		13:00～17:00		
ベトナム語	水曜日	9:00～12:00	(公財)大和市国際化協会 (市役所分庁舎2階)	046-263-1261 046-260-5126
		13:00～16:00		
中国語	第1・3・5木曜日	9:00～12:00		
タガログ語	第2・4木曜日	9:00～12:00		
英語	月曜日～金曜日	9:00～12:00		
		13:00～17:00		

2015年度 賛助会員を募集します

国際化協会の活動は、皆さまの会費に支えられています。大和市の多文化共生を進めるため、ぜひご加入ください。

●賛助会員の特典

①機関誌「Pal」の送付

年に4回発行している協会の機関誌です。国際化協会のイベント情報をいち早く皆さんにお届けします。

②協会主催事業の割引サービス

会員証を提示するだけで外国語講座、国際理解講座など、国際化協会のイベントに優待価格でご参加いただけます。

*すべてのイベントに適用されるものではありません。

③協力指定店での割引サービス

国際化協会の協力指定店で会員証を提示してください。お得なサービスがいろいろ受けられます。

●年会費

個人会員一口 1,000円

法人会員一口 10,000円

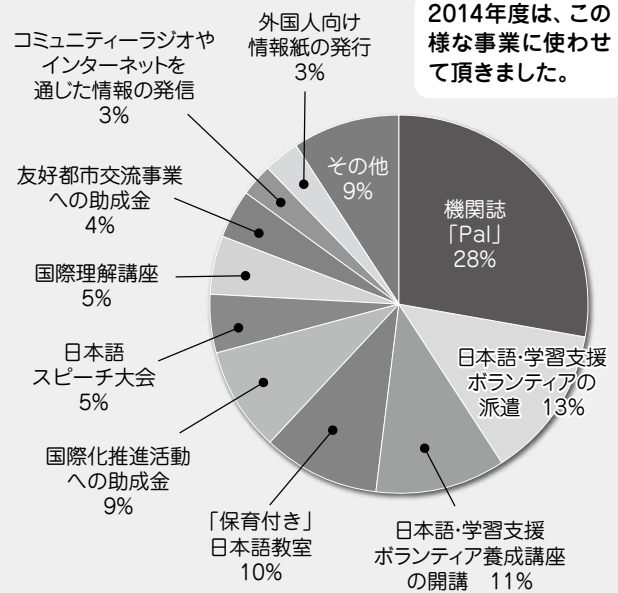
2015年4月1日から2016年3月31日まで有効です。

●入会方法

申込書に会費を添えて提出していただきます。国際化協会の窓口で直接お越しいただくか、電話、Emailでお問い合わせください。

ありがとうございました

2014年度は、この様な事業に使わせて頂きました。



2014年度賛助会員収入：

1,348,000円（2015年2月28日現在）

個人会員 1,084名

法人会員 16法人

2015年度 イベントカレンダー

国際化協会が2015年度に実施を予定しているイベントです。詳細は、窓口・HPなどでご確認ください。

4月

末日 外国語版情報紙
Terra・Tierra・ニイハオ・
チャオバーン発行

5月

9日・10日 大和市民まつり出展

7日～ 第Ⅰ期日本語教室
7月30日（全13回）

24日 第10回やまと国際交流
フェスティバル
大和駅東側プロムナード

6月

28日 外国人市民サミット
勤労福祉会館

末日 外国語版情報紙
Terra・Tierra・ニイハオ・
チャオバーン発行

7月

12日「にほんごで話そう！
～日本語スピーチ大会」
勤労福祉会館

21日、22日 夏休み子ども教室
23日、28日 保健福祉センター
29日、30日

8月

下旬 生活セミナー
分庁舎会議室

末日 外国語版情報紙
Terra・Tierra・ニイハオ・
チャオバーン発行

9月

3日～ 第Ⅱ期日本語教室
11月26日（全13回）

末日 協会機関誌「Pal」発行

10月

初旬 外国語講座開始

25日「やまと世界料理の屋台村」開催
大和駅東側プロムナード

末日 外国語版情報紙
Terra・Tierra・ニイハオ・
チャオバーン発行
協会機関誌「Pal」発行

11月

初旬 にほんごひろば（全7回）
初旬 日本語教授法ブラッシュアップ
講座

中旬 クロスカルチャーセミナー
未定 やまと国際交流フェスティバル
実行委員会発足

12月

初旬 国際理解講座（全2回）

末日 外国語版情報紙
Terra・Tierra・ニイハオ・
チャオバーン発行
協会機関誌「Pal」発行

1月

中旬 通訳・翻訳ボランティア
研修会

2月

末日 外国語版情報紙
Terra・Tierra・ニイハオ・
チャオバーン発行

3月

2日、9日 日本語ボランティア教師
16日、23日 養成講座（前期4回）

下旬 ボランティア交流会

末日 協会機関誌「Pal」発行

国際化協会のホームページをリニューアルしました！

アドレスは<http://www.yamato-kokusai.or.jp/>

多言語のページが新しくできたほか、市内のお役立ち情報などを、随時更新していきますので、ぜひチェックしてみてください！ 大和市国際化協会 [検索](#)

画像をクリックすると該当ページにアクセスすることができます。

ゴミの出し方、予防接種など、生活情報の多言語版などを集めました。

市内の日本語教室に関する情報はこのページからどうぞ。

このページに災害情報のリンクをまとめています。

市内のさまざまなイベントなどの情報をこのページでお知らせしていきます。

協力指定店のご案内
市内のエスニックレストランガイドとしてもお役立てください。

ここからは目的別に協会事業の該当ページにアクセスすることができます。

公式Facebookページはこちら。



Facebookのページもあります。日本語、英語、スペイン語、タガログ語、中国語、ベトナム語で情報をお届けしていきます。

協会概要、情報公開のページはこちら。

英語 スペイン語 中国語 ベトナム語 タガログ語

各言語をクリックするとそれぞれの言語のページを見ることができます。

ボランティアに興味がある方はこちら。

機関誌、外国語版情報紙はこちら。PDFデータで閲覧することができます。

各事業、イベントの詳細ページへはこのボタンをクリックしてください。

最新情報はこちらでチェック。

私たちからのおすすめ情報はこちらで紹介しています。

多言語で情報をお届けするFMやまとのコーナー「たぶんかラジオ」。4月から始まります！



大和市のコミュニティFM、「FMやまと」で、午後4時からオンエア中の番組「夕映えサンセット」に、多言語で市内の情報をお届けする「たぶんかラジオ」のコーナーが新たに始まります。月曜日はスペイン語、水曜日は英語、金曜日はタガログ語です。時間は4時40分前後から。お聴き逃しなく！

ゆっくりとお別れのできる 一日一家族の葬儀式場

家族想いの 大和式礼

ご自宅でのご安置にお困りの方、当館霊安室でお預かりできます。

大和式礼 ☎ 0120-143-011 年中無休 24時間受付

大和市大和東 2-9-13 相鉄線・小田急江ノ島線「大和」駅北口より徒歩約6分



<http://www.sikirei.com/>

大和斎場でのご葬儀もご用命ください。